低圧遮断器の現状と展望

現在, 低圧遮断器の世界においてもIT(Information Technology)革命による変革の波にさらされており, 電気を使用するビル・工場等のシステム化・インテリジェント化が進んでいる。また, 規制緩和とグローバル化に伴う規制, 規格の変化があり, 市場のグローバル化により, 機器単体についても国際規格への適合やグローバルスペックへの追従等が求められている。

国際規格への整合については、電気設備技術基準へのIEC規格の取り込みを始め、IEC整合化による新JIS規格も制定された。この規格では、操作部の絶縁など、従来以上に安全面の規則が充実してきている。

電気用品取締法から電気用品安全法への改正に代表されるように、規制緩和とともに第三者認証制度の拡大がなされている。欧州ではCEマーキング、米国ではULマークが強制実施されており、今後ますます製品認証が重要になってくると考えられる。

低圧遮断器については、これらの市場ニーズにこたえるために、これまでも小型化、シリーズ化、多機能化等の性能向上を図ってきた。今後の省エネルギー・環境問題等を考慮に入れ、グローバル化した市場のニーズにマッチした製品提供のために、現在の遮断技術をベースに電子技術等さらに革新を図り、複合化・インテリジェント化・ネットワーク化を指向した技術開発が進められている。

井下雄右* *福山製作所長(現在:生産システム本部副本部長兼生産技術センター長) 矢木澤 守** * 同製作所 遮断器製造部長